

製品名: ADH5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87731**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:40 kDa; Observed MW:40 kDa

抗原情報

遺伝子名	ADH5
別名	FDH; ADHX; ADH-3; FALDH; GSNOR; GSH-FDH; HEL-S-60p
遺伝子ID	128, 11532, 100145871
SwissProt ID	P11766, P28474, P12711
免疫原	ヒトADH5の合成ペプチド

背景

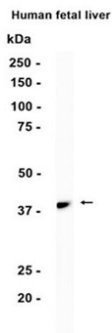
この遺伝子はアルコール脱水素酵素ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、エタノール、レチ

ノール、その他の脂肪族アルコール、ヒドロキシステロイド、脂質過酸化生成物など、多様な基質を代謝します。コードされているタンパク質はホモ二量体を形成します。エタノール酸化に対しては実質的に活性を示しませんが、長鎖第一級アルコールの酸化、およびホルムアルデヒドとグルタチオンとの自発的付加物である S-ヒドロキシメチルグルタチオンの酸化に対して高い活性を示します。この酵素は、流涙、鼻炎、咽頭炎、接触性皮膚炎を引き起こす強力な刺激性および感作性物質であるホルムアルデヒドの除去における細胞代謝の重要な構成要素です。ヒトゲノムには、この遺伝子に関連する非転写偽遺伝子がいくつか含まれています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]

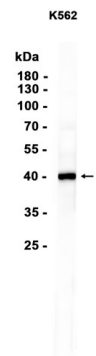
研究分野

-

画像データ



ADH5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。



AMRe87731 を 1:1000 で使用した K562 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。